0602

あなたの脚、大丈夫ですか vol.1

知っていますか「下肢静脈瘤」

むくみやこぶ、放置すると危険

静脈瘤に「こぶ」が、静脈瘤は「足にこぶが出てきた」ものだと思っている人が多いのではないでしょうか。たしかに、静脈瘤の症状の中でもっとも目立つのは、皮膚表面に現れる青紫色のこぶです。しかし、静脈瘤のこぶは、ただ見た目が悪いだけではなく、ときに、足の重だるさ、むくみ、こむら返りなどの症状を伴うことがあります。

静脈瘤は、静脈の弁が何らかの原因で壊れ、血液が逆流することで、下肢の静脈に血液が溜まり、血管が拡張してこぶのようになる病気です。

静脈瘤の発症には、遺伝的な要素が大きく関与しています。ご家族に静脈瘤の方がいらっしゃる場合、ご本人も発症しやすいと考えられます。また、長時間の立ち仕事や、妊娠・出産、肥満、便秘などが、静脈瘤の発症や悪化に影響することが知られています。

静脈瘤の診断は、まず問診と視診から始まります。ご自覚症状や、ご家族の病歴、生活習慣などをお伺いした上で、目で見て、触って、ご状態を確認します。

下肢静脈瘤の仕組み

辻クリニック院長 辻 和宏

1995年愛媛大学医学部卒。同年より市立病院、国立病院を経験。2007年に医療法人社団 和会クリニック高松市林町開設。「下肢静脈瘤の第一治療 未来型静脈瘤日帰手術センター」設備、専門要員、技術集中門戸。

0705

あなたの脚、大丈夫ですか vol.2

もしかして、「かくれた下肢静脈瘤」？

だるさ、こむら返りは黄信号

「だるい、重い」、「こむら返りが起きる」、「足がつる」などの症状は、静脈瘤の代表的な症状の一つです。ただ、これらの症状は、静脈瘤以外の原因でも起こることがあります。ですから、ご自覚症状だけで、ご自分で「静脈瘤だ」と判断することは、難しいことです。

静脈瘤の診断は、まず問診と視診から始まります。ご自覚症状や、ご家族の病歴、生活習慣などをお伺いした上で、目で見て、触って、ご状態を確認します。

ただ、ご自覚症状がない場合、見た目だけでは、静脈瘤かどうか、はっきりとは分からないことがあります。ですから、ご自覚症状がない場合、見た目だけで、「静脈瘤だ」と判断することは、難しいことです。

そこで、当クリニックでは